

○ 経済学部現代応用経済学科ラボラトリが経済産業省中小企業庁「創業機運醸成事業」に採択

経済学部現代応用経済学科ラボラトリは、経済産業省中小企業庁・令和元年度予算「創業支援等事業者補助金(創業機運醸成事業)」に採択されました。前年度に引き続き、2回目の快挙です。

「創業機運醸成事業」とは、創業準備段階に至っていない創業の無関心者(学生を含む)に対して創業の普及啓発を行う事業です。支援事業のスキームは、市区町村が創業支援等事業者(認定支援機関・経済団体・金融機関等)と連携して地域単位で実施するものです。

「創業機運醸成事業」の一例としては、教育現場等での起業家教育、若年層向けのビジネスコンテスト開催、短期間で起業体験できるプログラム実施などが挙げられています。(詳しくは、中小企業庁「産業競争力強化法における市区町村による創業支援/創業機運醸成ガイドライン(2018年5月)」を参照ください。)

令和元年5月15日から6月14日まで公募があり、175件の応募がありました。外部審査委員会における厳正な審査の結果、83件の補助事業者が決定されました。83件の採択された補助事業者のうち、大学は本学のみです。

設立2年目の現代応用経済学科ラボラトリですが、「アントレプレナーシップ(起業活動)を軸に置き、教員・学生と学内外の多様な関係者が協働し、オープンな連携のもとで研究・教育・地域貢献を融合させる地域プラットフォームのエンジンになること」を目指して、シンポジウムやアントレプレナー交流会など精力的に活動しています。引き続き、ラボは世田谷区の創業支援機関の一つとして創業に関する啓発普及を行っていきます。

